



魅力的な

グッとくる飛騨人材採用
フォローアップ勉強会

まちスポ飛騨高山

飛騨地域求人特集ページ成功事例から学ぶ 人材採用フォローアップ勉強会

飛騨地域での人材確保の一環として、飛騨地域総合移住サイト「グッとくる飛騨」の求人特集ページに掲載している企業と求人掲載の採用成功事例と各社の求人情報見直しの勉強会をおこないました。今年度、まちスポでインターンに参加した学生が4名参加。多角的な視点で各社の求人情報見直しのアイデア出しを行いました。参加企業からは「学生に逆面接されているみたいで情報の見直しが出来て良かった。」「業界にいると平気で使う言葉を学生から疑問だししてもらえて、まだまだ改善できることがわかった。」学生からは「いま就職活動をしていて企業の求人の見方やわからないことを質問する練習になった」という感想がありました。



開催日:2022年2月25日(金)10:00~11:30
会場:オンライン まちスポ飛騨高山
主催:認定NPO法人まちづくりスポット
参加者:19名

スーパーで扱われていて多くのアレルギッ子の支えになっています。参加者からは、「パンを買う場所だけでなくママが相談に来れる場所」というのが素敵ですね、と声があがり、そのような場づくりはどうしたら良いか盛り上がりしました。次回もお楽しみに！



第4回 スキマ研究会

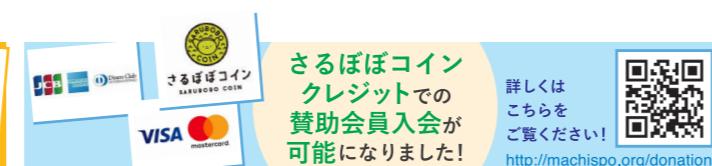


まちスポ飛騨高山

今回のスキマ案内人は、アレルギッ子ママの米パン工房「ままみい」の西岡和子さんです。モダレーターは前回同様に事業パートナーの古里圭史さんが務め、西岡さんがアレルギーの勉強会を始めたきっかけやこの事業をはじめることができた原動力、そしてこれまで10年続けることが出来た理由をお聞きしました。2011年からはじまったままみいの取り組みは10年が経ち、今ではままみいが作った米パンやアレルギー対応食品は様々な保育園の給食や県内外の

まち
窓
まち
ス
ポ
の
コ
つ
ぶ
な
り
き3月4日で法人10年目突入。
感謝。
田辺年度末へ向けて頑張るぞ！
加藤防災士の資格ゲット
五十嵐

2月のホームページ更新

<http://machispo.org>●第4回ひだのスキマ研究会
<http://machispo.org/sukima4/>●会報95号
<http://machispo.org/kaiho95/>●春が来た！ぬり絵deひな祭り!
<http://machispo.org/nuriedehinamaturi/>●2022年3月まちスポ飛騨高山 イベント情報
<http://machispo.org/event202203/>

活動を応援してくださる方を
募集しています。

納入先

郵便振替 00840-9-183216 特定非営利活動法人まちづくりスポット
飛騨信用組合 松泰寺支店(普)0793442 特定非営利活動法人まちづくりスポット
高山信用金庫 駅 西 支 店(普)0166788 特定非営利活動法人まちづくりスポット

毎月の事業報告！

2022.03.15 March

会報
まちスポ
Machispo Vol. 97

Since 2012.3.4

岐阜県飛騨地域の高山市で
災害が起きた時の

在住外国人のネットワークづくり プロジェクト

まちスポ飛騨高山

アジア留学生インターナン受入れ助成プログラム
公益信託 アジア・コミュニティ・トラスト特別基金
「アジア留学生等支援基金」

公益信託 アジア・コミュニティ・トラスト特別基金
「アジア留学生等支援基金」アジア留学生インターナン受入れ助成プログラム(※)の採択を受け、まちスポでは2月~5月の期間、中国からの留学生「陳韻雯(ちんいんぶん)」さんと共に、「岐阜県飛騨地域の高山市で災害が起きた時の在住外国人のネットワークづくり」プロジェクトに取り組んでいきます。

プロジェクト名には「災害が起きた時の」と書いてありますが、普段から災害が起ってしまった際に在日外国人の方が正しく身を守るために方法や、迷わず避難できるような防災に関する情報の提供や、話題を共有するためのネットワークを作ります。そして、そのネットワークは有事の際に避難所の情報や支援の情報などを得ることができる「平時」と「有事」のフェーズを分けずに使うことができるフェーズフリーな取り組みとなることを目指します。

在日の期間や出身国の風習、日本での生活環境など災害に対する備えの仕方は十人十色です。日本で起こる災



害の種類や、それらの災害から身を守る方法、避難所の場所、被災後の生活など必要な知識や情報が得られることで、誰ひとり取り残さない「災害にも強いまち」を作っていくましょう。

※アジアの開発途上国(DAC 援助受取国1)から日本に留学し、日本の大学に在籍する留学生(正規の大学生・大学院生)がNGOやNPOの民間非営利組織が実施する社会開発事業等におけるインターンシップ・プログラムを対象とした助成を行うもの

インターンシップの受け入れ

まちスポ飛騨高山

アジア留学生インターナン受入れ助成プログラム

岐阜大学大学院で言語学を専攻している大学院1年生の陳韻雯(ちんいんぶん)さん。2022年2月から4か月間、インターン生として「岐阜県飛騨地域の高山市で災害が起きた時の在住外国人のネットワークづくり」の活動をします。

コロナ禍での来日に苦労しつつも「日本に留学できる日を楽しみに一生懸命日本語を学んだ」と笑顔で話してくださいました。災害や防災についての知識を学びながら、もし自分だったら!と、有事の際に必要な情報を平時からも活用できるネットワークとして当事者目線から築き上げるフェーズフリーな仕組み作りと一緒に取り組んでくださいます。

ちん いんぶん
陳 韵雯

岐阜大学大学院 大学院1年生

出身地:中国海南省 趣味:料理、blog、読書
今頑張っていること:就職活動、日本語、英語、修士論文

飛び出せ★元気市民 とやま



草月いけばな主宰

すがわら えいてん
菅原 瑛天さん

**家幸
族
い
け
ば
な
の
魅
力
は
共
有
で
き
る
と
こ
ろ**

2021年春からまちなかサロン登録団体として、「草月いけばな」を開催。まもなく一年を迎える。イベントの紹介では「お花を日常に取り入れて心豊かに過ごしませんか?」と呼びかける菅原さんにお話をうかがいました。

自分だけの時間との出会い

菅原さんといけばなの出会いは菅原さんが20歳の時でした。成人の記念に何かお稽古事を始めたいと思っていた菅原さんは、はさみがあれば始められ、持って帰って家でも楽しめる手軽さに惹かれたそうです。

「いけばなの魅力は、幸せを家に持って帰って家族と共有できるところ」と笑顔で話します。また、当時の先生に言われた「お花をいっているときは自分だけのご褒美の時間だよ。その時間を楽しんでね」という言葉がストンと心に落ち、今もとても大切にしているそうです。

まちなかサロンとの出会い

昨年の春、大学進学で次女が自分の元から離れたことをきっかけに何かしたいと考えていた菅原さんは初の個展を開催。その後、友人にまちなかサロンを勧められます。小さな単位で一緒に学べる場を作りたいという自分のニーズに合っていると考えて利用を始めました。まちなかサロンの魅力をたずねると、「アットホームで気を張らずに気楽にふらっと来られ、お稽古特有のお堅い感じにならないところ。まちスポとやまが親身になって話を聞いてくれたり、自分ではなくなかなか難しい宣伝や広報をサポートしてくれるところ。友人に会場が説明しやすかったり公共交通の便が良く来やすかったりするところ」と話してくれました。

いけばな以外にも

また、菅原さんはいけばな以外に、長年、「富山子ども劇場」の活動にも参加しています。「富山子ども劇場」は、文化芸術や遊びの体験を通じて子どもと大人がともに

まちなかサロンの夏休み「いけばな体験」

育ちあえる地域を作っていくと活動している非営利の文化団体で、子どもが子どもとして豊かな時間を生きられる社会づくりを目指しています。

「子ども劇場での活動を通じて、子どもの頃にいろんな感動や体験を脳の引き出しに収納することの大切さ。お母さんは初めからお母さんではなく子どもと一緒に育っていく。子どもは地域に見守られて育てられるものなど、大切なことをたくさん教えられた」といいます。

やりたいことがたくさん

夏休みには小学生対象の「いけばな体験」の講師を担当。普段のいけばな教室の参加者は子育ての終了した世代ですが、子ども劇場での経験を活かして子ども向けの教室にも挑戦してみたいそうです。

また、日本の伝統芸能を正しく発信することが大事だと考えている菅原さんは、床の間がなくても楽しめるという草月流の特徴を活かし、日本人だけでなく海外の人にもいけばなの歴史や魅力を伝える活動にも興味を持っています。他にも「総曲輪レガートスクエアの屋外で通りすがりの人と一緒に作品を完成させ、庭といけた花の両方を見て楽しむ企画をやってみたい」と、アイディアをふくらませています。



ご連絡はこちらまで

▼まちスポ飛騨高山

〒506-0025 岐阜県高山市天満町1-5-8(フレスコ飛騨高山内)
TEL: 0577-62-8550 FAX: 0577-62-8580
E-mail: info@machispo.org HP: http://machispo.org

▼まちスポとやま

〒930-0083 富山県富山市総曲輪4丁目4-3(総曲輪レガートスクエア内)
TEL: 076-461-3332 FAX: 076-461-3359
E-mail: toyama@machispo.org HP: http://machispo.org

まちスポサポーター募集中

去年12月に登録された、まちスポ・サポーターから「ひろげて、びっくり!いないないばあ!」の絵本をご寄贈いただきました。かわいい動物たちが登場する「しきかけ絵本」。まだ文字が読めない小さなお子さまでも楽しめる一冊です。たくさんの子どもたちに読んでもらえるよう、キッズスペースに置かせていただきました。ぜひ、お近くにお越しの際はふらっとのぞいて絵本を探してみてくださいね。

まちスポ・サポーターとは、まちスポで活動している仲間の総称です。「自分の能力を地域のために活かしたい」「こんな活動に加わってみたい」という方や、「何でもいいからできることをやってみたい」「なにかお手伝いしたい」という方など、関わる動機は様々です。それぞれの力とアイデアをあわせて、この地域で何かやってみませんか?詳しくはHPまたはお問合せください。

●＼＼春が来た!!! ぬり絵 de ひな祭り!

まちスポ飛騨高山

雪国である飛騨地方は春の訪れが遅く、季節の行事をひと月遅れて行う風習があります。桃の節句・雛まつりもそのひとつ。市内各所の雛飾りをめぐる「第24回 飛騨高山雛まつり」の参加企画として、まちスポでは「もーもーたろうのひな祭り」と「むすべる&キレテルのひな祭り」2つのぬり絵を皆さんに楽しんでいただき、出来上がった作品を展示しています。

高山在住のイラストレーターワダアス力さんがこの企画のために描いてくださったまちスポオリジナルのぬり絵です。用紙は交流スペースに用意していますが、ホームページよりダウンロードすることも可能です。カラフルに彩られる交流スペースを楽しみにしてください。



ぬり絵募集期間:

2022年2月7日(月)～2022年3月20日(日)

展示期間:2022年3月2日(水)～2022年4月3日(日)

令和3年度 第3回 ウェルビーイング研修



とやまし元気プログラムの企画運営をするコンシェルジュやとやまし元気プログラムに関心のある人向けの研修会を実施しました。日本ヘルスサイエンスセンターの石川雄一先生を講師にお招きし、2021年度第1～2回で学んだ「ウェルビーイング」(健康で幸福な状態)とは何かを振り返りました。その後プログラム運営者の悩みやうまくいった点の情報共有を石川先生のお話を交えつつ、ざくばらんに行いました。石川先生が参加者全員に均等に話

を振ってくださいましたため、会話の輪から誰も外れることなく、和気あいあいとしつつも参加の方々の企画、実施したことがきちんと共有される素敵な研修会になりました。次年度もウェルビーイング研修会は実施します。ご興味ある方はまちスポとやままで。

主催:富山市福祉政策課、

認定NPO法人まちづくりスポットまちスポとやま

開催日:2022年2月25日(金) 参加者数:16名